

## 平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 久保 裕

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日

TEL 03-5408-3351  
平成26年2月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	2,402	0.5	105	10.4	123	7.5	64	13.9
25年5月期第2四半期	2,391	15.8	95	—	114	—	56	—

(注)包括利益 26年5月期第2四半期 70百万円 (19.6%) 25年5月期第2四半期 59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	11.58	—
25年5月期第2四半期	10.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年5月期第2四半期	8,868	—	8,121	—	91.6
25年5月期	9,139	—	8,133	—	89.0

(参考)自己資本 26年5月期第2四半期 8,121百万円 25年5月期 8,133百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	15.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	1.3	340	7.4	385	5.0	215	3.1	38.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期2Q	5,745,184 株	25年5月期	5,745,184 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	200,092 株	25年5月期	200,092 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	5,545,092 株	25年5月期2Q	5,545,092 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出はこのところ弱含んでいるものの生産は緩やかに増加しており、企業収益は大企業を中心に改善が進んでおります。また、政府の各種政策や日本銀行の金融対策の効果により円安や株高基調が継続し、景気回復が確かなものとなることが期待されている一方で、海外景気の下振れが我が国の景気を押し下げるリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は概ね横ばいとなっておりますが、受注環境においては案件が増えてきており回復の兆しが見えつつあります。

こうした環境の中、当第2四半期連結累計期間において、当社は、得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野、新規顧客を発掘することや、前期より継続してソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供すること、などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,402百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は105百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は123百万円（前年同期比7.5%増）、四半期純利益は64百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、電力業界全体として開発量の減少傾向が継続していることや海外システム案件の受注単価が下落しているため、担当機能の拡大やオフショア開発による原価低減など改善に努めましたが、売上高、利益とも前年を下回りました。

自動車の制御システムは次世代自動車向け電動化システムの開発などが堅調に推移しました。しかし、一部車載情報システム関連は開発内容が従来の制御システムから組込システムに変わってきたため、自動車の制御システム開発全体としては、売上高が前年を下回ることとなりました。

この結果、売上高は409百万円（前年同期比23.0%減）、セグメント利益は75百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

#### (交通システム)

交通システムでは、新幹線は、延伸についてのシステム開発は横ばいで推移したものの全体としては開発サイクルが一巡し、さらに在来線の運行管理システムも開発案件が減少傾向にあり、売上高、利益とも前年を大幅に下回りました。

この結果、売上高は168百万円（前年同期比39.4%減）、セグメント損失は26百万円（前年同期39百万円の利益）となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、前期に危機管理分野の大型システム開発が終了したため、空間情報や環境資源に関わるシステム開発を新たに受託しました。空間情報のシステム開発は、上流設計フェーズから製造フェーズに移行し徐々に体制を拡大しつつあります。環境資源やその他の危機管理分野は、概ね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は248百万円（前年同期比32.6%減）、セグメント利益は58百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

#### (組込システム)

組込システムでは、スマートフォンのプラットフォーム開発は開発量に山谷があるものの、売上高は概ね横ばいで推移し、アイドルなどが減少したことにより、利益は前年より大幅に増加しました。

前期より開始した車載情報システムの開発は、従来からの案件が堅調に推移し、新たに受託した海外案件の体制が拡大するなど売上高が前年より大幅に増加しました。

また、ストレージデバイスの組込システム開発は横ばいで推移し、新たに受託した半導体生産管理のシステム開発も横ばいで推移しました。

この結果、売上高は538百万円（前年同期比50.2%増）、セグメント利益は135百万円（前年同期比186.6%増）となりました。

#### (産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、非接触ICカードシステムの開発で減少傾向にあるものの、新たな官公庁向けシステム開発を受託したことや、次世代の駅務機器システム開発に着手したこと、ETCなどのシステム開発が好調に推移したことなどで、売上高は前年より大幅に増加しました。

また、産業向けも、スポーツ関連のシステム開発が製造フェーズに移行し中国大連のグループ会社でオフショア開発を進めたことなどで、売上高は前年より大幅に増加しました。

この結果、売上高は583百万円（前年同期比57.3%増）、セグメント利益は138百万円（前年同期比63.9%増）となりました。

## (ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は顧客の商品開発の減少やオフショア化により減少傾向にあります。このため、引合が多い構築業務にシフトを図っておりますが、技術教育を目的としたオーバーアサインや受注単価低減などで、構築・検証業務では売上高、利益とも前年より減少しました。また、保守・運用業務は会計システムが好調に推移し、その他は概ね横ばいに推移しました。

この結果、売上高は454百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は83百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて270百万円減少して、8,868百万円となりました。この主な要因は、納税及び賞与支払いにより現金及び預金が減少したことによりです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて258百万円減少して、747百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによりです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円減少して、8,121百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が減少したことによりです。

この結果、自己資本比率は、91.6%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて353百万円減少して、793百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、148百万円（前年同期は515百万円の獲得）となりました。主な要因は、売上債権の減少等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、423百万円（前年同期は115百万円の使用）となりました。主な要因は、長期性預金の預入れによる支出等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、78百万円（前年同期は83百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年7月8日公表の平成26年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,046,936	1,993,390
受取手形及び売掛金	1,842,682	1,405,191
有価証券	1,503,257	1,506,723
仕掛品	90,651	230,080
原材料	562	562
繰延税金資産	213,780	162,700
その他	60,240	90,460
流動資産合計	6,758,110	5,389,109
固定資産		
有形固定資産	236,389	237,514
無形固定資産	31,279	23,909
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,264	1,960,666
長期預金	30,000	1,030,000
その他	226,864	227,737
投資その他の資産合計	2,114,128	3,218,403
固定資産合計	2,381,797	3,479,828
資産合計	9,139,908	8,868,938

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,348	56,688
未払法人税等	226,286	15,584
賞与引当金	427,879	319,800
その他の引当金	17,929	39,288
資産除去債務	6,071	—
その他	223,559	250,213
流動負債合計	948,074	681,575
固定負債		
引当金	54,952	59,200
その他	3,008	6,698
固定負債合計	57,960	65,898
負債合計	1,006,035	747,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,490,666	4,471,676
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,128,675	8,109,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,197	11,779
その他の包括利益累計額合計	5,197	11,779
純資産合計	8,133,872	8,121,464
負債純資産合計	9,139,908	8,868,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	2,391,331	2,402,470
売上原価	1,912,914	1,954,578
売上総利益	478,417	447,892
販売費及び一般管理費	383,234	342,764
営業利益	95,182	105,127
営業外収益		
受取利息	12,740	13,897
保険解約返戻金	4,984	3,403
その他	2,152	2,337
営業外収益合計	19,877	19,638
営業外費用		
その他	84	1,158
営業外費用合計	84	1,158
経常利益	114,976	123,607
特別損失		
固定資産除却損	1,033	2,479
投資有価証券評価損	10,940	—
特別損失合計	11,974	2,479
税金等調整前四半期純利益	103,002	121,127
法人税、住民税及び事業税	78,125	5,731
法人税等調整額	△31,463	51,210
法人税等合計	46,661	56,941
少数株主損益調整前四半期純利益	56,340	64,185
四半期純利益	56,340	64,185

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,340	64,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,829	6,582
その他の包括利益合計	2,829	6,582
四半期包括利益	59,170	70,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,170	70,768
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	103,002	121,127
減価償却費及びその他の償却費	24,952	16,746
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	1,033	2,479
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	10,940	—
受取利息及び受取配当金	△12,758	△13,915
引当金の増減額(△は減少)	74,640	△82,472
売上債権の増減額(△は増加)	441,539	437,490
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126,891	△139,429
仕入債務の増減額(△は減少)	1,982	10,340
投資その他の資産の増減額(△は増加)	10,911	△10,408
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△45,613	△39,849
その他の流動負債の増減額(△は減少)	31,049	18,819
その他	△7,209	△5,652
小計	507,580	315,277
利息及び配当金の受取額	24,572	24,202
補助金の受取額	—	19,769
その他の収入	11,176	7,162
法人税等の支払額	△27,996	△217,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	515,333	148,917
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,700,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	1,900,000	1,400,000
長期性預金の預入れによる支出	—	△1,000,000
有価証券の取得による支出	△890,657	△301,649
有価証券の売却及び償還による収入	1,350,000	900,000
有形固定資産の取得による支出	△5,754	△16,009
無形固定資産の取得による支出	△3,799	△475
投資有価証券の取得による支出	△761,771	△703,783
資産除去債務の履行による支出	△3,698	△1,476
その他	—	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,679	△423,612
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△83,038	△78,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,038	△78,851
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	316,615	△353,545
現金及び現金同等物の期首残高	821,498	1,146,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,138,113	793,390

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	531,609	277,522	368,389	358,532	370,991	484,285	2,391,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	531,609	277,522	368,389	358,532	370,991	484,285	2,391,331
セグメント利益	125,744	39,737	106,645	47,331	84,393	87,147	491,000

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,391,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,391,331
セグメント利益	△395,817	95,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△395,817千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,234千円及びその他△12,583千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	409,531	168,058	248,301	538,387	583,501	454,690	2,402,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	409,531	168,058	248,301	538,387	583,501	454,690	2,402,470
セグメント利益又は損失(△)	75,651	△26,384	58,523	135,636	138,310	83,617	465,354

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,402,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,402,470
セグメント利益又は損失(△)	△360,227	105,127

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△360,227千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△342,764千円及びその他△17,462千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	333,879	△17.7
交通システム	194,442	△18.2
特定情報システム	189,777	△27.5
組込システム	402,750	+29.4
産業・公共システム	445,191	+55.3
ITサービス	371,073	△6.6
合計	1,937,115	+1.9

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	363,408	△34.8	106,274	△48.7
交通システム	320,682	+15.4	193,711	△7.8
特定情報システム	302,132	△19.3	159,499	+13.6
組込システム	519,897	+47.5	110,762	△2.2
産業・公共システム	697,655	+42.4	315,014	+40.2
ITサービス	433,726	△8.1	100,910	△20.9
合計	2,637,503	+4.5	986,171	△3.6

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	409,531	△23.0
交通システム	168,058	△39.4
特定情報システム	248,301	△32.6
組込システム	538,387	+50.2
産業・公共システム	583,501	+57.3
ITサービス	454,690	△6.1
合計	2,402,470	+0.5

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	782,519	32.7	533,132	22.2
株式会社東芝	—	—	341,180	14.2
日立オートモティブシステムズ株式会社	271,543	11.4	277,788	11.6

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 前第2四半期連結累計期間における株式会社東芝に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。